

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	中澤 優作	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。 2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。 3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	回 01：鎌倉時代(鎌倉幕府成立～承久の乱) 02：鎌倉時代(執権政治～元寇) 03：室町時代(鎌倉幕府滅亡～室町幕府の組織) 04：室町時代(室町将軍) 05：戦国～安土・桃山時代(織豊政権) 06：江戸時代(江戸幕府の成立～武断政治) 07：江戸時代(鎖国～正徳の治) 08：江戸時代(享保の改革～寛政の改革) 09：江戸時代(天保の改革～桜田門外の変) 10：江戸～明治時代(薩長同盟～明治維新) 11：明治時代(自由民権運動～条約改正) 12：明治時代(日清戦争～日露戦争) 13：大正時代(第一次世界大戦～政党政治) 14：大正～昭和時代(昭和初期の経済) 15：昭和時代(太平洋戦争)	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 日本史				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	近藤 大輔	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：西洋史（古代ギリシア・ローマ）</p> <p>02：西洋史（フランク王国・十字軍）</p> <p>03：西洋史（中世ヨーロッパ諸国・ルネサンス）</p> <p>04：西洋史（大航海時代・宗教改革）</p> <p>05：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ①絶対主義）</p> <p>06：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ②イギリス市民・アメリカ独立革命）</p> <p>07：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ③フランス革命）</p> <p>08：西洋史（ナポレオン・産業革命）</p> <p>09：西洋史（19世紀の欧米①ウィーン体制～ロシアの近代化）</p> <p>10：西洋史（19世紀の欧米②アメリカ合衆国の発展～帝国主義）</p> <p>11：西洋史（第一次世界大戦とロシア革命）</p> <p>12：西洋史（ヴェルサイユ体制・アジアの民族運動）</p> <p>13：西洋史（第二次世界大戦）</p> <p>14：西洋史（第二次世界大戦後の世界①）</p> <p>15：西洋史（第二次世界大戦後の世界②）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 世界史				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	橋本 祐	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：世界の大地形、小地形</p> <p>02：特殊な地形と陸水、海洋について</p> <p>03：世界の気候①</p> <p>04：世界の気候②</p> <p>05：世界の植生、土壌、地図</p> <p>06：世界の農業、水産業</p> <p>07：世界の工業資源</p> <p>08：世界の工業</p> <p>09：世界の都市機構、人口</p> <p>10：日本の国土、人口、産業</p> <p>11：世界地誌（アジア）</p> <p>12：世界地誌（アフリカ、ヨーロッパ①）</p> <p>13：世界地誌（ヨーロッパ②）</p> <p>14：世界地誌（ロシア、北アメリカ）</p> <p>15：世界地誌（南アメリカ、オセアニア）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 地理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	中澤 将太	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。 経済社会や経済史について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：経済社会の変容と経済体制 02：現代の企業 03：市場メカニズム 04：市場の失敗 05：国民所得 06：経済成長と景気循環 07：通貨制度 08：金融政策 09：財政制度 10：財政政策 11：貿易と外国為替 12：日本経済①石油危機まで 13：日本経済②石油危機後 14：国際通貨・金融体制 15：地域的経済統合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 経済				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	臼井 律子	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子の仕組みを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 生態系の成り立ちについて説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：細胞と細胞膜のはたらき 02：染色体と細胞分裂 03：酵素・呼吸 04：同化作用・消化作用 05：生殖と発生 06：メンデルの法則 07：染色体と遺伝現象 08：遺伝子の本体と異変 09：神経系とそのはたらき 10：刺激の受容と反応 11：循環系・防御反応 12：肝臓・腎臓・ホルモン 13：動植物の調節 14：生物の集団 15：生物の進化と系統	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 生物				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	必修
担当	堀田 知嗣	年次	2	時期	前期
授業回数	90	実務家		時間数	180
授業目的概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献	資格の大原 答案練習問題				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	特に無し				

## Syllabus

行政法律科 I

授業科目		授業形態		区分	
担当		年次		時期	
授業回数		実務家		時間数	
授業目的 概要	【目的】 【概要】				
到達目標					
授業内容	回 01 : 模擬試験 31 02 : 模擬試験 32 03 : 模擬試験 33 04 : 模擬試験 34 05 : 模擬試験 35 06 : 模擬試験 36 07 : 模擬試験 37 08 : 模擬試験 38 09 : 模擬試験 39 10 : 模擬試験 40 11 : 模擬試験 41 12 : 模擬試験 42 13 : 模擬試験 43 14 : 模擬試験 44 15 : 模擬試験 45		回 16 : 模擬試験 46 17 : 模擬試験 47 18 : 模擬試験 48 19 : 模擬試験 49 20 : 模擬試験 50 21 : 模擬試験 51 22 : 模擬試験 52 23 : 模擬試験 53 24 : 模擬試験 54 25 : 模擬試験 55 26 : 模擬試験 56 27 : 模擬試験 57 28 : 模擬試験 58 29 : 模擬試験 59 30 : 模擬試験 60		
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の 内容					

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目		授業形態		区分	
担当		年次		時期	
授業回数		実務家		時間数	
授業目的概要	【目的】 【概要】				
到達目標					
授業内容	回 01 : 模擬試験 61 02 : 模擬試験 62 03 : 模擬試験 63 04 : 模擬試験 64 05 : 模擬試験 65 06 : 模擬試験 66 07 : 模擬試験 67 08 : 模擬試験 68 09 : 模擬試験 69 10 : 模擬試験 70 11 : 模擬試験 71 12 : 模擬試験 72 13 : 模擬試験 73 14 : 模擬試験 74 15 : 模擬試験 75	回 16 : 模擬試験 76 17 : 模擬試験 77 18 : 模擬試験 78 19 : 模擬試験 79 20 : 模擬試験 80 21 : 模擬試験 81 22 : 模擬試験 82 23 : 模擬試験 83 24 : 模擬試験 84 25 : 模擬試験 85 26 : 模擬試験 86 27 : 模擬試験 87 28 : 模擬試験 88 29 : 模擬試験 89 30 : 模擬試験 90			
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					



## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	講義	区分	必修
担当	安江 里奈	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。 立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。 基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	回 01：職場のマナー 02：仕事の進め方 03：挨拶と敬語① 04：挨拶と敬語② 05：電話応対マナー 06：電話を取り次げない場合 1（不在・外出） 07：電話を取り次げない場合 2（休暇・出張） 08：電話を取り次げない場合 3（電話中） 09：電話を取り次げない場合 4（その他） 10：電話を取り次げない場合 5（伝言・メモの書き方） 11：電話の掛け方の基本 12：電話の受け方応用（道案内等） 13：電話応対のロールプレイ 1 14：電話応対のロールプレイ 2 15：電話応対のロールプレイ 3	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	テキストの内容確認をする。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	丹阪 亮人	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：政治と権力、近代国家 02：国家論、行政国家の諸問題 03：政治制度論 04：政治過程論 05：日本国憲法の特徴、人権保障、公共の福祉 06：幸福追求権、平等権 07：精神的自由権 08：経済的自由権 09：人身の自由 10：社会権 11：請願権、受益権、憲法改正 12：国会の地位、権能、衆議院の優越 13：国会の種類、内閣 14：裁判所 15：地方自治、法学、戦後日本政治史	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 政治				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目	速修自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	小池 知弘 臼井 律子	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に学 ぶ。</p>				
到達目標	<p>物理学について基本的な地球や地球を取り巻く環境、宇宙についての知識を見に付ける。 地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。物理学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：運動の表現 02：力 03：運動方程式 04：エネルギー 05：運動量、熱 06：波動、電気 07：電気、原始 08：地球の形と内部構造、動く大地 09：地震、岩石 10：大気構造と地球の熱収支、雲と降雨 11：地球をめぐる大気、気象現象 12：日本の四季、海洋と海水 13：地球の運動 14：太陽系と惑星 15：恒星の世界、地層の比較、地質年代と日本列島の 変遷	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 物理、地学				
成績基準	定期試験				

準備学習の  
内容

各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	石田 智彦	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：整数① 02：整数② 03：整数③ 04：整数④ 05：整数習熟確認 06：割合と比① 07：割合と比② 08：割合と比③ 09：割合と比習熟確認 10：方程式・不等式① 11：方程式・不等式② 12：方程式・不等式③ 13：方程式・不等式習熟確認 14：速さ① 15：速さ②		回 16：速さ③ 17：速さ④ 18：速さ習熟確認 19：全範囲まとめ講義① 20：全範囲まとめ講義② 21：全範囲まとめ講義③ 22：全範囲まとめ講義④ 23：全範囲まとめ講義⑤ 24：全範囲まとめ講義⑥ 25：全範囲まとめ講義⑦ 26：全範囲まとめ講義⑧ 27：全範囲まとめ講義⑨ 28：全範囲まとめ講義⑩ 29：全範囲まとめ講義⑪ 30：全範囲まとめ講義⑫		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座テキスト数的処理 AⅢ				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理 II	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	石田 智彦	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：図形の計量① 02：図形の計量② 03：図形の計量③ 04：図形の計量習熟確認 05：数列 06：計算パズル, 数理計画 07：数列・計算パズル・数理計画習熟確認 08：場合の数① 09：場合の数② 10：確率① 11：確率② 12：場合の数・確率習熟確認 13：資料解釈① 14：資料解釈② 15：資料解釈③	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座テキスト数的処理 A II、資格の大原公務員講座テキスト数的処理 A III				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	掛川 太郎	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】            数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p>【概要】            具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	回 01：論理①（命題と対偶） 02：論理②（「かつ」と「または」） 03：論理③（ベン図） 04：論理④（存在命題） 05：論理 確認テスト 06：集合①（ベン図） 07：集合②（交わりの最小値、最大値） 08：集合③（キャロル表） 09：集合 確認テスト 10：順序関係①（順序の確定） 11：順序関係②（数値条件） 12：順序関係③（折り返し、時計のズレ） 13：位置方位①（平面、座席） 14：位置方位②（立体、方位） 15：順序関係・位置方位 確認テスト		回 16：平面図形①（多角形の軌跡） 17：平面図形②（円・おうぎ形の軌跡） 18：平面図形③（円の周りに円を回す） 19：平面図形④（道順・一筆書き・位相） 20：平面図形⑤（折り紙・数え上げ） 21：平面図形⑥（分割・合成） 22：平面図形 確認テスト 23：立体図形①（正多面体） 24：立体図形②（展開図） 25：立体図形③（積木） 26：立体図形④（見取図・投影図） 27：立体図形⑤（サイコロ） 28：立体図形⑥（切断） 29：立体図形⑦（回転体） 30：立体図形 確認テスト		
テキスト参考文献	名古屋大原学園テキスト『数的処理 A I（判断推理）』『数的処理 A II（図形）』				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理IV	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	掛川 太郎	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】            数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p>【概要】            具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	回 01：対応関係①（対応表） 02：対応関係②（スケジュール表） 03：対応関係③（ブロックパズル） 04：対応関係④（数値条件、やり取り） 05：対応関係 確認テスト 06：勝敗①（リーグ戦） 07：勝敗②（トーナメント戦） 08：勝敗③（予想、選挙） 09：勝敗 確認テスト 10：証言①（証言内容の矛盾） 11：証言②（作表して解く） 12：推理①（暗号解読） 13：推理②（帽子の色、石取り、油分け算） 14：推理③（重さ、渡橋） 15：推理 確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	名古屋大原学園テキスト『数的処理 A I（判断推理）』				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				



## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	総合数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	石田 智彦 掛川 太郎	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 情報を整理し様々な視点から問題に取り組む思考習慣を養う</p> <p>【概要】 数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈の様々な解法を学習し、実践的推理力を身につける</p>				
到達目標	<p>数学的な立式と計算力を身につける</p> <p>情報を整理し系統的に捉える力を身につける</p> <p>素早く図表を読み取り把握する力を身につける</p>				
授業内容	回 01：論理・集合 02：数的推理実戦的解法講義① 03：順序関係・位置方位 04：数的推理実戦的解法講義② 05：対応関係 06：数的推理実戦的解法講義③ 07：勝敗・証言 08：数的推理実戦的解法講義④ 09：暗号・推理手順 10：数的推理実戦的解法講義⑤ 11：平面図形 12：数的推理実戦的解法講義⑥ 13：立体図形 14：数的推理実戦的解法講義⑦ 15：判断推理・空間把握総合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座テキスト数的処理 A I、資格の大原公務員講座テキスト数的処理 A II、資格の大原公務員講座テキスト数的処理 A III				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	奥岡 諒	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>長文読解のための手法を身につける。 現代文の読解ができる。 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：要旨把握① 02：要旨把握② 03：要旨把握③ 04：内容合致 05：文章整序① 06：文章整序② 07：空欄補充① 08：空欄補充② 09：文章理解総合演習 10：ギリシアの思想 11：西洋近代思想① 12：西洋近代思想② 13：西洋現代思想 14：東洋思想、日本の思想① 15：日本の思想②、日本の近代思想	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	憲法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	丹阪 亮人	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法における人権規定の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 日本国憲法の人権規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権規定における役割を理解できる。</p> <p>各種人権規定に係わる判例、学説を理解する。</p> <p>講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	回 01：憲法入門・憲法の意義 02：憲法の特性、前文 03：日本国憲法と大日本帝国憲法、基本的人権の分類 04：人権の享有主体①外国人 05：人権の享有主体②法人、天皇、未成年者 06：特別の法律関係①公務員 07：特別の法律関係②在監者 08：私人間効力 09：包括的基本権①意義、プライバシー権、肖像権 10：包括的基本権②名誉権、自己決定権、環境権 11：法の下での平等①序論 12：法の下での平等②判例 13：思想・良心の自由 14：信教の自由 15：政教分離	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	憲法 II	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	丹阪 亮人	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法の統治機構規定を理解する。</p> <p>【概要】 日本国憲法の統治機構規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>統治機構の役割を理解する。 三権相互の関係を理解する。 講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	回 01：国会①国会の地位、国会の組織 02：国会②会期 03：国会③国会議員の地位と権能 04：国会④国会の権能 05：国会⑤議院の権能 06：内閣①議院内閣制、内閣の地位・組織 07：内閣②内閣の権能、内閣総理大臣の権能 08：内閣③内閣の総辞職、衆議院の解散 09：裁判所①司法権の限界と範囲 10：裁判所②統治行為、裁判所の組織 11：裁判所③司法権の独立 12：裁判所④違憲審査権 13：財政 14：地方自治 15：憲法改正、天皇、平和主義	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	憲法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	丹阪 亮人	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法における人権規定の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 日本国憲法の人権規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権規定における役割を理解できる。</p> <p>各種人権規定に係わる判例、学説を理解する。</p> <p>講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：表現の自由①意義、わいせつ表現、営利的表現</p> <p>02：表現の自由②犯罪のせん動、表現の時・場所・方法の規制</p> <p>03：表現の自由③知る権利、取材の自由、アクセス権</p> <p>04：表現の自由④表現の自由への事前抑制、集会の自由</p> <p>05：表現の自由⑤集団行動の自由、結社の自由、通信の秘密</p> <p>06：学問の自由</p> <p>07：職業選択の自由</p> <p>08：財産権</p> <p>09：人身の自由①奴隷的拘束・苦役からの自由、適正手続の保障</p> <p>10：人身の自由②捜査手続と被疑者の権利、刑事被告人の諸権利</p> <p>11：人身の自由③拷問・残虐刑の禁止、事後法・二重の危険の禁止</p> <p>12：社会権①生存権、教育を受ける権利</p> <p>13：社会権②勤労の権利、労働基本権</p> <p>14：参政権</p> <p>15：受益権</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	定期試験				

準備学習の  
内容

授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	民法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	東 克俊	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として民法典のうち、総則・物権法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法総則のうち、制限行為能力者制度、法人、意思能力、時効を中心に条文規定や、判例ならびに学説について理解できる。</p> <p>2. 物権法のうち、物権総論、各物権規定に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>3. 民法総則、物権法の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：民法典の役割、制限行為能力者制度 1 02：制限行為能力者制度 2 03：法人 04：物、無効と取消 05：法律行為 06：代理制度 07：時効制度 08：物権総論 09：不動産物権変動 10：動産物権変動 11：所有権、占有権 12：用益物権 1 13：用益物権 2 14：担保物権 1 15：担保物権 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座【民法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	民法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	東 克俊	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、民法典（債権法・家族法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として民法典のうち、債権法・家族法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法（債権法）の債権総論及び各論を中心に、条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 家族法につき、法体系や条文知識、判例、学説などを理解する。</p> <p>3. 債権法、家族法の学習を通じて幅広い視点にたって考える力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：債権の目的 02：債務不履行（1） 03：債務不履行（2） 04：債権者代位権・取消権 05：多数当事者の債権債務関係1 06：多数当事者の債権債務関係2 07：債権譲渡 08：債権の消滅 09：契約総論 10：各論1 11：各論2 12：契約以外の債権発生原因（1） 13：契約以外の債権発生原因（2） 14：親族法 15：相続法	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座【民法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				



## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	民法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	東 克俊	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して民法典全体の理解度を向上させる</p> <p>【概要】 民法全体にわたる条文規定・判例を学習する</p>				
到達目標	<p>1. 物権法、債権法に関する条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 物権法の問題に関する理解度を向上させる。</p> <p>3. 債権法、家族法の問題に関する理解度を向上させる。</p>				
授業内容	回 01：法律行為（意思表示）応用 1 02：法律行為（意思表示）応用 2 03：代理制度（無権代理・表見代理） 1 04：代理制度（無権代理・表見代理） 2 05：不動産物権変動応用 06：担保物権（留置権） 07：担保物権（抵当権） 1 08：担保物権（抵当権） 2 09：担保物権全般 10：債権者代位権・取消権 11：債権消滅 1 12：債権消滅 2 13：契約各論 1 14：契約各論 2 15：契約以外の債権発生原因	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座【民法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	行政法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	鶴見 達洋	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、行政作用法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政作用法のうち、行政行為、行政強制、行政罰、行政立法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政行為のうち、行政行為の分類、瑕疵、取消撤回、裁量、附款を中心に条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政強制、行政罰の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政契約、行政計画、行政立法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政法とは 02：行政行為の分類① 03：行政行為の分類② 04：行政行為の効力 05：行政行為の瑕疵 06：行政行為の裁量 07：行政行為の取消撤回 08：行政行為の附款 09：行政強制① 10：行政強制② 11：行政罰 12：行政契約/行政計画 13：行政立法① 14：行政立法② 15：行政立法③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	行政法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	鶴見 達洋	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、行政作用法及び行政救済法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政手続法、情報公開法、行政不服審査法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政作用法のうち、行政手続法及び公物法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政作用法のうち、情報公開法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政救済法のうち、行政不服審査法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政手続法（申請に対する処分） 02：行政手続法（不利益処分） 03：行政手続法（聴聞） 04：行政手続法（行政指導/届出） 05：行政手続法（命令等） 06：情報公開法（開示手続） 07：情報公開法（開示請求に対する措置） 08：行政不服審査法（総則） 09：行政不服審査法（審査請求） 10：行政不服審査法（審理手続） 11：行政不服審査法（裁決/決定） 12：行政不服審査法（教示等） 13：公物法 14：法律による行政の原理 15：行政上の法律関係	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	行政法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	鶴見 達洋	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、行政救済法及び行政組織法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政事件訴訟法、国家賠償法、国家行政組織法、地方自治法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政救済法のうち、行政事件訴訟法の条文規定や判例並びに学説について理解する。 行政救済法のうち、国家賠償法の条文規定や判例並びに学説について理解する。 行政組織法のうち、国家行政組織法及び地方自治法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政事件訴訟法（総則） 02：行政事件訴訟法（取消訴訟） 03：行政事件訴訟法（処分性） 04：行政事件訴訟法（原告適格） 05：行政事件訴訟法（審理等） 06：行政事件訴訟法（その他の抗告訴訟） 07：行政事件訴訟法（当事者訴訟等） 08：国家賠償法（1条） 09：国家賠償法（1条判例） 10：国家賠償法（2条） 11：損失補償 12：地方自治法（事務） 13：地方自治法（議会/長） 14：地方自治法（直接請求） 15：地方自治法（国の関与）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	法律概論	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	丹阪 亮人 東 克俊 鶴見 達洋	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、憲法・民法・行政法のより実践的な知識の習得を目指す。</p> <p>【概要】 憲法、民法、行政法の判例を中心とした学習を行う。</p>				
到達目標	<p>講義を通じて、人権・統治機構全体に関する判例知識を身につける。</p> <p>講義を通じて、民法総論、物権、債権、親族、相続の関連性を理解する。</p> <p>講義を通じて、行政法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：憲法 1 人権（総論、平等権） 02：民法 1 総則 03：行政法 1 行政行為 04：憲法 2 人権（自由権①） 05：民法 2 物権法① 06：行政法 行政手続法、行政不服審査法 07：憲法 3 人権（自由権②、社会権） 08：民法 3 物権法② 09：行政法 3 行政事件訴訟法 10：憲法 4 統治機構（国会） 11：民法 4 債権法 12：行政法 4 国家賠償法 13：憲法 5 統治機構（内閣、裁判所） 14：民法 5 親族、相続法 15：行政法 5 地方自治法	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座【憲法、民法、行政法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	ミクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	中島 康登	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して不完全競争市場の特徴・リスクとゲーム理論・国際貿易を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてミクロ経済学のうち、不完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>独占企業の行動が理解できること ゲーム理論の基礎を理解すること パレート基準の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：市場の均衡 02：市場均衡の安定性 03：価格弾力性 04：家計の制約 05：最適消費点の導出 06：所得変化と価格変化 07：さまざまな無差別曲線 08：企業の利潤最大化の理解 09：費用の分類 10：損益分岐点と操業停止点 11：生産要素と利潤最大化 12：費用最小化と利潤最大化 13：長期と短期の区別 14：計算問題演習 15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：独占市場 17：複占市場 18：寡占市場 19：ゲーム理論の基礎 20：リスクの経済学 21：パレート基準の理解 22：公共財 23：外部性 24：自然独占 25：貿易政策 26：比較生産費説 27：ヘクシャー・オリーンモデル 28：マクドゥーガルモデル 29：計算問題演習 30：総まとめ試験</p>			
テキスト 参考文献	テキスト経済学 I (ミクロ経済学) 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	ミクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	中島 康登	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して市場メカニズム・家計の行動（消費論）・企業の行動（生産論）を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてミクロ経済学のうち、完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>市場メカニズムが理解できること 家計の効用最大化の計算問題の理解 企業の利潤最大化の計算問題の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：市場の均衡と余剰分析</p> <p>02：市場均衡の安定性（ワルラス・マーシャル・クモの巣）</p> <p>03：課税と税負担</p> <p>04：家計の制約と効用最大化</p> <p>05：最適消費点の導出（加重限界効用均等の法則）</p> <p>06：全部効果、代替効果、所得効果</p> <p>07：消費と貯蓄</p> <p>08：企業の利潤最大化計算問題</p> <p>09：費用関数（グラフでの図解）</p> <p>10：サンクコストの有無と最適生産量</p> <p>11：限界生産力と平均生産力</p> <p>12：コブダグラス型生産関数の性質</p> <p>13：長期と短期の区別（グラフの理解）</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	テキスト経済学Ⅰ（ミクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	マクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	中島 康登	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して経済成長理論、AD-AS 分析、インフレ総供給曲線・インフレ総需要など、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済学のうち、労働市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>経済成長理論が理解できること</p> <p>AD-AS モデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場・労働市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	回 01：国民経済計算 02：国際収支統計の理解 03：物価指数 04：45 度線分析 05：乗数効果 06：乗数モデル（政府部門を含むモデル） 07：IS 曲線 08：LM 曲線 09：利子弾力性 10：金融政策 11：財政政策 12：政策効果 13：ポリシーミックス 14：計算問題演習 15：総まとめ試験	回 16：為替レートの理解 17：マンデルフレミングモデル 18：消費理論 19：投資理論 20：成長会計 21：新古典派成長理論 22：労働市場 23：UV 曲線 24：AD-AS モデル 25：フィリップス曲線 26：インフレ需要曲線 27：インフレ供給曲線 28：経済学派の整理 29：計算問題演習 30：総まとめ試験			
テキスト参考文献	テキスト経済学Ⅱ（マクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				



## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	マクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	中島 康登	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して国民経済計算や45度線分析、IS-LM分析を学び、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済学のうち、財市場、貨幣市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>均衡国民所得の計算ができること</p> <p>IS-LMモデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	回		回		
	01：国民経済計算と帰属計算		16：		
	02：国際収支統計の理解とISバランスアプローチ		17：		
	03：産業関連表		18：		
	04：45度線分析の計算問題		19：		
	05：インフレギャップとデフレギャップ		20：		
	06：乗数モデル（海外部門を含むモデル）		21：		
	07：IS曲線計算問題		22：		
	08：LM曲線計算問題		23：		
	09：所得弾力性		24：		
	10：貨幣乗数		25：		
	11：クラウディングアウト		26：		
	12：流動性のわな		27：		
	13：ポリシーミックス		28：		
	14：計算問題演習		29：		
	15：総まとめ試験		30：		
テキスト参考文献	テキスト経済学Ⅱ（マクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	経済学	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	中島 康登	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 演習を通してマクロ・ミクロ経済学の基本知識の整理を図る。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済学・ミクロ経済学のうち、基本的な計算問題を学習する。</p>				
到達目標	<p>財市場の均衡、貨幣市場の均衡を把握できること</p> <p>市場論・企業論の基礎理論がわかること</p> <p>公共財の理解</p>				
授業内容	回 01：45度線分析 02：IS-LM分析 03：AD-AS分析 04：経済成長理論 05：市場メカニズム 06：消費者の効用最大化 07：企業の利潤最大化 08：独占・複占・寡占 09：ゲーム理論 10：パレート基準 11：市場の失敗 12：比較生産費説 13：計算問題演習1 14：計算問題演習2 15：総まとめ試験	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座【ミクロ経済学、マクロ経済学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	現代組織論	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	堀田 知嗣 山崎 愛子 奥岡 諒	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して現代組織の理論、歴史的背景、社会学的見地や行政活動への導入例を学び、現代組織論の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 現代組織論について学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社会学の諸理論を理解できる。</p> <p>行政理論、現代行政について知識を身に付ける。</p> <p>企業経営の知識や考え方を他の経営に応用させることができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政国家と福祉国家</p> <p>02：行政理論</p> <p>03：組織理論</p> <p>04：行政組織</p> <p>05：官僚制論</p> <p>06：公務員制度</p> <p>07：政策過程</p> <p>08：予算・決算制度</p> <p>09：行政責任・行政統制</p> <p>10：地方自治</p> <p>11：社会学史①</p> <p>12：社会学史②</p> <p>13：社会学史③</p> <p>14：基礎概念（社会的性格・文化）</p> <p>15：基礎概念（階級と階層・社会変動論）、社会集団（組織集団）</p>	<p>回</p> <p>16：社会集団（家族）、地域社会</p> <p>17：経営と労働、現代的課題（規範・逸脱）</p> <p>18：現代的課題（規範・逸脱）、社会調査</p> <p>19：伝統管理論・人間関係論</p> <p>20：モチベーション論</p> <p>21：近代組織論①</p> <p>22：近代組織論②</p> <p>23：現代企業論</p> <p>24：経営組織論①</p> <p>25：経営組織論②</p> <p>26：経営戦略論①</p> <p>27：経営戦略論②</p> <p>28：日本的経営・生産品質管理</p> <p>29：イノベーション論</p> <p>30：マーケティング論</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 行政学、社会学、経営学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	会計学	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	東 克俊	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業会計の役割を学び背景にある会計理論を学習する。</p> <p>【概要】 企業会計の基礎、会計基準、会計理論を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記の基本を学び、財務諸表の役割を理解する。</p> <p>2. 企業取引における会計処理手続きを理解する。</p> <p>3. 企業会計原則を中心とする制度会計の役割を理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：簿記の目的		16：		
	02：商品売買の記帳方法		17：		
	03：特殊商品売買		18：		
	04：株式会社の資本		19：		
	05：決算手続①		20：		
	06：決算手続②		21：		
	07：損益会計①		22：		
	08：損益会計②		23：		
	09：損益会計③		24：		
	10：資産会計		25：		
	11：負債会計		26：		
	12：純資産会計		27：		
	13：一般原則①		28：		
	14：一般原則②		29：		
	15：特殊会計		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座【会計学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	政治学	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	奥岡 諒	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、政治システムの基礎原理を学ぶ。</p> <p>【概要】 政治の基本原理を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代政治の基礎を理解する。 政治思想の基礎を理解する。 政治体制を理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：政治学の基礎概念①		16：		
	02：政治学の基礎概念②		17：		
	03：政治学の基礎概念③		18：		
	04：自由民主主義①		19：		
	05：自由民主主義②		20：		
	06：現代社会と政治①		21：		
	07：現代社会と政治②		22：		
	08：現代社会と政治③		23：		
	09：政治過程論①		24：		
	10：政治過程論②		25：		
	11：政治過程論③		26：		
	12：政治過程論④		27：		
	13：政治制度論		28：		
	14：政治思想と政治理論①		29：		
	15：政治思想と政治理論②		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 政治学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	コミュニケーションスキルV	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	平戸 佑典	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 口頭による自己表現力を高め、印象の良い立ち居振る舞いやディスカッションの力を養う</p> <p>【概要】 自己分析、グループディスカッション、自己PR方法の習得</p>				
到達目標	<p>深い自己分析と口頭による自己表現ができる</p> <p>グループディスカッションができる</p> <p>印象の良い立ち居振る舞いができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：人物評価試験の重要性とポイント，入退室やお辞儀などの立ち居振る舞いマナー</p> <p>02：質疑応答講義①（印象の良い応答）</p> <p>03：質疑応答講義②（会話が広がる応答）</p> <p>04：質疑応答講義③（印象の良い受けこたえ）</p> <p>05：グループディスカッション（是か非型）①</p> <p>06：グループディスカッション（是か非型）②</p> <p>07：グループディスカッション（是か非型）③</p> <p>08：グループディスカッション（自由討論型）①</p> <p>09：グループディスカッション（自由討論型）②</p> <p>10：グループディスカッション（自由討論型）③</p> <p>11：グループディスカッション（自由討論型）④</p> <p>12：集団面接のポイント，質疑応答講義④（自己PR）</p> <p>13：質疑応答講義⑤（自己PR掘り下げ）</p> <p>14：質疑応答講義⑥（力を入れてきたこと）</p> <p>15：質疑応答講義⑦（効果測定）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	お辞儀や丁寧な挨拶、笑顔の習慣				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	コミュニケーションスキルVI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	平戸 佑典	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 ビジネス現場で通用する身だしなみ、社会問題意識、職業観、自己表現力を身につける</p> <p>【概要】 職業研究や官公庁の政策研究をし、それらを質疑応答の中で表現する</p>				
到達目標	<p>ビジネス現場で通用する身だしなみや立ち居振る舞いが身につく</p> <p>志望する官公庁の政策の知識がある</p> <p>社会問題に関する意見発表ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：質疑応答講義①（自己PR・力を入れてきたこと）</p> <p>02：質疑応答講義②（自己PR・力を入れてきたこと）</p> <p>03：質疑応答講義③（自己PR・力を入れてきたこと）</p> <p>04：職務内容および政策研究を通して志望動機を作成</p> <p>05：質疑応答講義④（志望動機・取り組みたい仕事）</p> <p>06：質疑応答講義⑤（志望動機・取り組みたい仕事）</p> <p>07：質疑応答講義⑥（志望動機・取り組みたい仕事）</p> <p>08：注目している社会問題の研究</p> <p>09：質疑応答講義⑦（気になるニュース）</p> <p>10：質疑応答講義⑧（気になるニュース）</p> <p>11：エントリーシート作成</p> <p>12：コンピテンシー面接</p> <p>13：質疑応答講義⑨（ESを使ったコンピテンシー面接）</p> <p>14：質疑応答講義⑩（ESを使ったコンピテンシー面接）</p> <p>15：質疑応答講義⑪（ESを使ったコンピテンシー面接）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	興味のある職業のニュースや時事問題に普段から関心を持つ				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修文章表現能力 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	奥岡 諒	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 文章を通じた自己表現および論理的説明力を養う</p> <p>【概要】 基本的な文章表現方法を学び、自己の経験および職業観を分析し、表現する</p>				
到達目標	<p>与えられたテーマに沿って自己の経験を文章表現できる</p> <p>自己の職業観について文章表現できる</p> <p>書いた文章をスピーチ用に編集し人前でスピーチできる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：文章表現ルール確認と自己の文章作成レベルチェック</p> <p>02：添削ポイントと経験系課題まとめ表①作成</p> <p>03：経験系課題まとめ表①を使った文章作成①</p> <p>04：経験系課題まとめ表①を使った文章作成②</p> <p>05：職業観課題まとめ表作成</p> <p>06：職業観課題まとめ表作成を使った文章作成①</p> <p>07：職業観課題まとめ表作成を使った文章作成②</p> <p>08：経験系課題まとめ表②作成</p> <p>09：経験系課題まとめ表②を使った文章作成</p> <p>10：スピーチのポイント</p> <p>11：クラススピーチ①</p> <p>12：クラススピーチ②</p> <p>13：制限時間のある文章作成</p> <p>14：クラススピーチ③</p> <p>15：クラススピーチ④</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座テキスト論作文対策				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	講義内で作成するまとめ表の把握				



## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	速修文章表現能力Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	奥岡 諒	年次	2	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 自己の経験および社会問題に関して客観的な考察と論理的説明力を養う</p> <p>【概要】 様々な社会問題に関しての知識を蓄え、論理的な文章を書く</p>				
到達目標	<p>現在の代表的な社会問題についての知識を身につける</p> <p>グラフや図表を読み取り、論理的な文章表現に変換できる</p> <p>与えられた課題に対して制限時間内に論理的に述べることができる</p>				
授業内容	回 01：小論文の書き方 02：社会問題研究① 03：小論文作成① 04：社会問題研究② 05：小論文作成② 06：社会問題研究③ 07：小論文作成③ 08：グラフや図表を読み取り方 09：社会問題研究④ 10：小論文作成④ 11：社会問題研究⑤ 12：小論文作成⑤ 13：社会問題研究⑤ 14：小論文作成⑤ 15：制限時間のある小論文作成	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座テキスト論作文対策				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	ニュースや時事問題に普段から関心を持つ				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	公務員上級総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	堀田 知嗣	年次	2	時期	前期
授業回数	120	実務家		時間数	240
授業目的概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識及び専門知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 公務員として必要な専門知識を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献	資格の大原 答案練習問題				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	特に無し				

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目		授業形態		区分	
担当		年次		時期	
授業回数		実務家		時間数	
授業目的概要	【目的】 【概要】				
到達目標					
授業内容	回 01 : 模擬試験 31 02 : 模擬試験 32 03 : 模擬試験 33 04 : 模擬試験 34 05 : 模擬試験 35 06 : 模擬試験 36 07 : 模擬試験 37 08 : 模擬試験 38 09 : 模擬試験 39 10 : 模擬試験 40 11 : 模擬試験 41 12 : 模擬試験 42 13 : 模擬試験 43 14 : 模擬試験 44 15 : 模擬試験 45	回 16 : 模擬試験 46 17 : 模擬試験 47 18 : 模擬試験 48 19 : 模擬試験 49 20 : 模擬試験 50 21 : 模擬試験 51 22 : 模擬試験 52 23 : 模擬試験 53 24 : 模擬試験 54 25 : 模擬試験 55 26 : 模擬試験 56 27 : 模擬試験 57 28 : 模擬試験 58 29 : 模擬試験 59 30 : 模擬試験 60			
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					

## Syllabus

行政法律科 I

授業科目		授業形態		区分	
担当		年次		時期	
授業回数		実務家		時間数	
授業目的 概要	【目的】 【概要】				
到達目標					
授業内容	回 01 : 模擬試験 61 02 : 模擬試験 62 03 : 模擬試験 63 04 : 模擬試験 64 05 : 模擬試験 65 06 : 模擬試験 66 07 : 模擬試験 67 08 : 模擬試験 68 09 : 模擬試験 69 10 : 模擬試験 70 11 : 模擬試験 71 12 : 模擬試験 72 13 : 模擬試験 73 14 : 模擬試験 74 15 : 模擬試験 75		回 16 : 模擬試験 76 17 : 模擬試験 77 18 : 模擬試験 78 19 : 模擬試験 79 20 : 模擬試験 80 21 : 模擬試験 81 22 : 模擬試験 82 23 : 模擬試験 83 24 : 模擬試験 84 25 : 模擬試験 85 26 : 模擬試験 86 27 : 模擬試験 87 28 : 模擬試験 88 29 : 模擬試験 89 30 : 模擬試験 90		
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目		授業形態		区分	
担当		年次		時期	
授業回数		実務家		時間数	
授業目的 概要	【目的】 【概要】				
到達目標					
授業内容	回 01：模擬試験 91 02：模擬試験 92 03：模擬試験 93 04：模擬試験 94 05：模擬試験 95 06：模擬試験 96 07：模擬試験 97 08：模擬試験 98 09：模擬試験 99 10：模擬試験 100 11：模擬試験 101 12：模擬試験 102 13：模擬試験 103 14：模擬試験 104 15：模擬試験 105		回 16：模擬試験 106 17：模擬試験 107 18：模擬試験 108 19：模擬試験 109 20：模擬試験 110 21：模擬試験 111 22：模擬試験 112 23：模擬試験 113 24：模擬試験 114 25：模擬試験 115 26：模擬試験 116 27：模擬試験 117 28：模擬試験 118 29：模擬試験 119 30：模擬試験 120		
テキスト 参考文献					
成績基準					
準備学習の 内容					

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	会社会計 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	堀田 知嗣 東 克俊	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、中小企業レベルの記帳から決算の処理までを身につける。</p> <p>【概要】 総務経理部所属経験を活かし、会計の役割、目的、簿記の基礎を理解させる。</p>				
到達目標	<p>中小企業レベルの主要簿作成ができる</p> <p>中小企業レベルの決算処理と財務諸表作成ができる</p> <p>日本商工会議所簿記検定の3級を合格する</p>				
授業内容	回		回		
	01：簿記の目的-勘定記入		16：		
	02：試算表-仕入諸掛		17：		
	03：販売諸掛-手形決済		18：		
	04：電子債権債務-預り金		19：		
	05：仮払金-その他債権債務		20：		
	06：株式会社の資本-税金の処理		21：		
	07：収益費用諸勘定-訂正仕訳		22：		
	08：試算表		23：		
	09：伝票		24：		
	10：決算整理 I		25：		
	11：決算整理 II		26：		
	12：決算整理 III		27：		
	13：決算整理 IV		28：		
	14：決算整理 V		29：		
	15：財務諸表		30：		
テキスト 参考文献	簿記3級公式テキスト（大原出版）				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	会社会計Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	堀田 知嗣 東 克俊	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 日商簿記3級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。</p> <p>【概要】 日商簿記3級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 日商簿記3級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。</p> <p>2. 日商簿記3級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。</p> <p>3. 日商簿記検定3級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	回 01：仕訳問題演習1 02：補助簿演習① 03：試算表演習① 04：試算表演習② 05：精算表演習① 06：財務諸表演習1 07：過去問演習① 08：過去問演習② 09：過去問演習③ 10：過去問演習④ 11：過去問演習⑤ 12：公開模試 演習 13：直前答練① 14：直前答練② 15：直前答練③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	大原学園「日商3級総まとめ」、「公開模試」、「直前答練」				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	指定した範囲の予習を行うこと				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	PC 実習 I	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	石田 智彦	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 Microsoft Word を使い、ビジネスの場で求められる基本的な文書を作成できる力を養う</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を段階的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社内文書、社外文書の形式を覚え作成できる</p> <p>体裁よくレポートが作成できる</p> <p>表、画像、図形を使った文書が作成できる</p>				
授業内容	回 01 : PC の設定 02 : 文書の作成と管理 03 : 入力操作の基礎と応用 04 : 社内文書 05 : 社外文書 06 : シンプルなレポート 07 : 見やすい報告書 08 : チラシや申込みフォーム 09 : 表や画像のある文書 10 : 図形描画 11 : SmartArt を使った文書 12 : ビジネス文書作成の応用① 13 : ビジネス文書作成の応用② 14 : ビジネス文書作成の応用③ 15 : ビジネス文書作成の応用④	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト 参考文献	大原学園 PCP パソコン実習				
成績基準	授業内試験				
準備学習の 内容	キーボードのタイピングに慣れる				



## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	PC 実習 II	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	石田 智彦	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 Microsoft Excel を使い、ビジネスの場で求められる表計算、グラフ、データベースの知識および操作できる力を養う</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能を段階的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的な関数を使い表計算ができる</p> <p>グラフを使った報告書作成ができる</p> <p>データベースの作成および操作ができる</p>				
授業内容	回 01 : PC の設定 02 : 表計算の基本操作 03 : 表の編集操作 04 : 関数を使った集計① 05 : 関数を使った集計② 06 : 関数を使った集計③ 07 : グラフ作成 08 : グラフを使った報告書作成ができる 09 : データベース機能の基本操作 10 : データベースの利用法① 11 : データベースの利用法② 12 : ピボットテーブル① 13 : ピボットテーブル② 14 : マクロによる作業の自動化① 15 : マクロによる作業の自動化②	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	大原学園 PCP パソコン実習				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容					

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	マーケティングⅢ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	堀田 知嗣 中島 康登 東 克俊	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 現代企業におけるマーケティングの重要性と課題を理解し、将来、ビジネス社会で実践できることを目的とする。</p> <p>【概要】 顧客満足を前提とした戦略を中心に、事例研究も交え、様々な分析手法を習得する。</p>				
到達目標	<p>1. 店舗調査に必要な情報を入手し、そこから問題点を導き出す。 2. 実際の店舗データを基に様々な分析を行うことができる。 3. 店舗調査を受け、売り上げ向上に必要な企画を考える。</p>				
授業内容	回 01：マーケティングの必要性 02：事前分析① 03：店舗調査 04：課題抽出① 05：企画立案① 06：企画立案② 07：企画書作成① 08：企画書作成② 09：企画書作成② 10：企画書作成④ 11：企画書作成⑤ 12：企画書作成⑥ 13：企画書作成⑦ 14：スライド作成① 15：スライド作成②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原学園「マーケティング」				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	財政学	授業形態	講義	区分	選択
担当	中島 康登	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 政府の経済活動とその機能を学習し、公務員として働くうえでの基礎理論を身につける</p> <p>【概要】 財政の機能、予算制度、租税、公債、財政政策を学習する</p>				
到達目標	<p>財政の三大機能・財政制度を理解すること 国家予算の概要と近年の財政事情の把握 財政政策の有効性について整理できること</p>				
授業内容	回 01：財政の基礎（財政の三大機能・財政学説史） 02：財政制度（予算原則・予算の種類） 03：財政制度（予算の内容・予算過程） 04：日本の財政事情 05：租税の基礎概念 06：財政投融资 07：負の所得税 08：公債の基礎概念 09：公債理論 10：日本財政の歴史 11：裁量的財政政策 12：地方財政 13：地方財政の分析指標 14：財政事情の国際比較 15：総まとめ試験	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座【財政学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目	職業実践 I	授業形態	講義	区分	選択
担当	小池 豊 (小池豊司法書士事務所)	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、法に興味関心を持ち法的思考力を身につける。</p> <p>【概要】 私生活と法のかかわりについて講義を中心に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 法とは何かを理解する。 2. 法の役割を理解する。 3. 法的思考力を身につける。</p>				
授業内容	回		回		
	01 : 法とは何か		16 :		
	02 : 法の分類		17 :		
	03 : 法の形式と機能		18 :		
	04 : 日常生活と法の間わり 1		19 :		
	05 : 日常生活と法の間わり 2		20 :		
	06 : 日常生活と法の間わり 3		21 :		
	07 : 裁判と法 1		22 :		
	08 : 裁判と法 2		23 :		
	09 : 法解釈		24 :		
	10 : 海外の法		25 :		
	11 : 事例検討 1		26 :		
	12 : 事例検討 2		27 :		
	13 : 事例検討 3		28 :		
	14 : 事例検討 4		29 :		
	15 : 総まとめ		30 :		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	堀田 知嗣	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁における様々な職種を知り、自己の職業選択に役立てる。</p> <p>【概要】 公務員ガイドブックや就職ガイドブックを利用した講義</p>				
到達目標	<p>1. 公務員の職種を理解する。 2. 民間企業の業界、職種を理解する。 3. 就職斡旋規定を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：就職斡旋規定 1 02：就職斡旋規定 2 03：公務員職種研究 1 04：公務員職種研究 2 05：公務員職種研究 3 06：公務員職種研究 4 07：企業業界説明 1 08：企業業界説明 2 09：企業業界説明 3 10：企業業界研究 11：活動準備 1 12：活動準備 2 13：活動準備 3 14：活動準備 4 15：官公庁・企業説明会</p>	<p>回</p> <p>16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：</p>			
テキスト 参考文献	大原学園 【就職ガイドブック】【公務員ガイドブック】				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	職業実践Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	三芳 研二（名古屋市博物館）	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員倫理規定等を学ぶ中で公務員制度、役割等を理解する。</p> <p>【概要】 公務員倫理規定を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 公務員制度の仕組みを理解する 2. 公務員の立場、役割を理解する 3. 志望官公庁や動機を明確にする</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：公務員制度概要（国家公務員）</p> <p>02：公務員制度概要（地方公務員）</p> <p>03：行政機関とは</p> <p>04：勤務体系</p> <p>05：義務 1</p> <p>06：義務 2</p> <p>07：分限処分と懲戒処分の違い</p> <p>08：事例紹介 1</p> <p>09：事例紹介 2</p> <p>10：必要な資質、能力について</p> <p>11：公務員として働く責任</p> <p>12：市民との関わり</p> <p>13：制度改革歴史</p> <p>14：制度改革</p> <p>15：総まとめ</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

## Syllabus

行政法律科 I					
授業科目	職業実践Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	橋本 祐	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して自助力、共助力を身に付け、災害から自身と地域を守る人材になること。</p> <p>【概要】 防災に関する知識を習得し、災害から身を守る力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 災害、防災概論 2. 災害発生前の準備について 3. 災害発生時、発生後について</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：自然的災害について</p> <p>02：人為的災害について</p> <p>03：社会的災害について</p> <p>04：自助、共助、公助について</p> <p>05：避難行動について</p> <p>06：地域の防災組織について</p> <p>07：被害想定、ハザードマップについて</p> <p>08：防災計画と企業防災について</p> <p>09：災害時派遣組織と内容について</p> <p>10：防災用品と家族防災会議について</p> <p>11：防災訓練について</p> <p>12：地震、津波、風水害、土砂、火災時の行動について</p> <p>13：救助活動について（ロープ、応急手当、活動手順）</p> <p>14：避難所での生活について（HUGを実施）</p> <p>15：総まとめと学習の活かし方（ICS）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	公益財団法人日本ケアフィット共育機構 防災介助士資格取得講座テキスト				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。				

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目	職業実践 V	授業形態	講義	区分	選択
担当	橋本 祐	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、犯罪や事故から身を守る力を身に付ける。</p> <p>【概要】 刑法の基礎と防犯に関する知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 刑法総論、窃盗罪の構成要件および窃盗罪等に関する防犯知識を身に付ける。</p> <p>2. グループワーク（プレゼンテーション作成）と、詐欺やインターネット犯罪、薬物事犯に関する知識と防犯知識を身に付ける。</p> <p>3. グループワーク（プレゼンテーション作成）と発表。</p>				
授業内容	回 01：刑法総論 02：刑法各論（窃盗、強盗、遺失物横領） 03：乗り物盗に関する防犯知識 04：ひったくり、侵入盗に関する防犯知識 05：グループワーク（プレゼンテーション作成）「テーマ 一定の予算で一戸建てに防犯措置をするなら」 06：プレゼンテーション発表 07：プレゼンテーション発表 08：刑法、特別法各論（詐欺、インターネット犯罪） 09：詐欺、インターネット犯罪に関する防犯知識 10：特別法（薬物事犯）道路交通法各論 11：薬物事犯、交通事故に対する防犯知識 12：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 13：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 14：プレゼンテーション発表 15：プレゼンテーション発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 刑法 ムック 防犯バイブル 2016				
成績基準	レポート				



準備学習の  
内容

各回の授業の要点を整理し、内容を確認すること。

## Syllabus

行政法律科 I

行政法律科 I					
授業科目	職業実践Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択
担当	堀田 知嗣	年次	2	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 各自治体の取組内容を学ぶことでそれぞれの自治体がおかれている状況、課題を理解する。</p> <p>【概要】 各自治体の政策研究を行い、プレゼンテーションで発表する。</p>				
到達目標	<p>1. 政策研究を行い、自治体ごとの課題を知る</p> <p>2. 研究の中で得た知識を志望動機につなげる。</p> <p>3. 魅力的な政策をプレゼンテーションにて発表</p>				
授業内容	回		回		
	01：自治体の政策とは		16：		
	02：政策紹介 1		17：		
	03：政策紹介 2		18：		
	04：政策紹介 3		19：		
	05：政策研究 1		20：		
	06：政策研究 2		21：		
	07：政策研究 3		22：		
	08：スライド作成 1		23：		
	09：スライド作成 2		24：		
	10：スライド作成 3		25：		
	11：スライド作成 4		26：		
	12：発表準備 1		27：		
	13：発表準備 2		28：		
	14：発表準備 3		29：		
	15：研究発表		30：		
テキスト	特に無し				
参考文献					
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				